

1. 国立天文台188cm反射望遠鏡（通称：ナナヨン）について

2018年に国立天文台と東京工業大学（現東京科学大学）、浅口市による国立天文台188cm反射望遠鏡（以下、ナナヨン）共同利用協定が締結され、一般の方でもナナヨンを使った天体観測ができるようになりました。

日本の天文学に多大な功績を残してきたナナヨンは、本来は研究者しか使用できない天体望遠鏡です。

ナナヨンの利用には様々な制約がありますが、当貸切共同事業は浅口市の利用枠の中で、一般の方がナナヨンを貸切で利用できる唯一の事業です。この特別な体験を希望される方は、以下の貸切共同利用規約をご確認の上、お申し込みください。

2. ナナヨンを利用してできること

(1) ナナヨンを使った天体観測

- ア. ナナヨンを直接覗いて、天体観測ができます。
- イ. 国立天文台ドームのスリットの開閉やドームの旋回、ナナヨンの操作は係員が行います。
- ウ. ドーム内での安全確認や利用にあたって上記イ以外の人員が必要となる場合、利用者側で人員を確保していただきます。
- エ. ナナヨンと利用者が持ち込んだカメラを接続して、天体の撮影ができます。カメラを接続する器具を用意しますので、撮影を希望される場合は事前にご相談ください。

3. 利用可能日時

(1) 利用可能日

- ア. 利用ができる日時については、浅口市ホームページに公開しています。
- イ. 公開している利用可能日以外での利用はできません。

(2) 利用可能時間

- ア. ご相談ください。（午後6時から翌日午前6時まで等）
- イ. 国立天文台ドーム入場から退場までを利用時間内（12時間以内）に収めてください。

4. 利用申込みについて

(1) 対象

- 利用者は小学生以上であり、高校生以下の方は保護者もしくは引率者と参加してください。利用代表者は20歳以上の方です。

<国立天文台188cm反射望遠鏡 貸切共同利用規約>

(2) 申込みの流れ

- ア. 利用申込み及びキャンセルは、浅口市産業振興課へ、平日8時30分から17時15分の間にご連絡ください。
- イ. 利用を希望する場合は、受付開始日以降に「仮予約」をしてください。
- ウ. 「仮予約」の完了後、利用希望日の14日前までに浅口市産業振興課へ必要書類を提出してください。提出がない場合、「仮予約」を取り消します。
- エ. 利用を承認した場合は、ナナヨン貸切共同利用承認書（様式第4号）を送付します。

(3) 提出書類一覧

- ア. 利用申込みにあたり提出が必要な書類は以下のとおりです。
 - (1) ナナヨン貸切共同利用承認申請書（様式第1号）
 - (2) 利用者名簿（様式第2号）
 - (3) 観測希望天体一覧表（様式第3号）

(4) 利用中止

- ア. 利用を中止する場合は、利用日の10日前の15時までに、浅口市産業振興課へ電話で事前に連絡のうえ、「ナナヨン貸切共同利用中止申込書（様式第5号）」原本と「ナナヨン貸切共同利用承認書（様式第4号）」を提出してください。
- イ. キャンセルの連絡の日時によっては、利用負担金を請求します。詳細は「5 利用負担金」を参照してください。
- ウ. キャンセルの取り下げはできません。改めて、利用の申請をお願いします。
- エ. ナナヨンの改修や突発的な天体現象、災害等を理由に、浅口市から利用中止を通達する場合があります。その場合は、利用負担金を請求することはありません。

5. 利用負担金

(1) 利用負担金

- ア. 別表第1に掲げる利用負担金のとおり。日程により利用区分が異なるため、市ホームページで示します。
- イ. 利用負担金については、利用日以降に請求書等を利用代表者宛に送付します。記載されている支払先へお振込みください。

(2) 利用日当日の利用を悪天候以外の理由により利用をキャンセルした場合

- ア. 利用日10日前の15時まで、利用負担金を請求しません。
- イ. 利用日10日前の15時以降、利用負担金を請求します。

(3) 利用日当日の利用を悪天候によりキャンセルした場合

- ア. 悪天候については、気象庁、一般財団法人日本気象協会、株式会社ウェザーマップが発表する浅口市の天気予報を基に判断します。
- イ. 利用予定時間の半分以上が「晴」の予報ではない場合は、悪天候と判断いたします。

※「晴」予報の判断基準

「」内の表記の中に「晴」を含んだ複数の表記（「曇」・「雨」・「雪」他）が入っている場合にお

<国立天文台188cm反射望遠鏡 貸切共同利用規約>

- いて、利用予定時間の半分以上が「晴」と推定される表記のときは「晴」と判断します。
- ウ. 利用日の3日前の15時までの悪天候によるキャンセルは、利用負担金を請求しません。
- エ. 利用日の3日前の15時以降の悪天候によるキャンセルは、利用負担金を請求します。
- オ. 悪天候を理由として利用の中止を申請する際に、アで挙げた天気予報の写し等の利用予定時間が悪天候だとわかる資料を提出してください。

(4) 利用開始後の料金中止

利用者の自己都合により、途中で利用を中止した場合でも利用負担金を請求します。

6. 注意事項

(1) 国立天文台敷地内の正門には、利用開始時間までにお入りください。

(2) 利用日当日の流れ

- ア. 利用日当日に受付を行いますので、岡山天文博物館事務室へお越しください。
- イ. 利用開始後は国立天文台敷地内の正門を封鎖するので、利用開始時刻に遅れないようご注意ください。利用開始時刻に遅れた場合は、入場をお断りする場合があります。

(3) 国立天文台ドーム内設備について

- ア. 2階観測室での飲食はご遠慮ください。飲食の際は、1階待機室をご利用ください。
- イ. 1階待機室内には冷蔵庫、炊事場があります。冷蔵庫には、研究者の私物が保存されている場合もありますので、混同しないようご注意ください。
- ウ. ドーム内に入浴設備はありません。1階待機室には冷暖房の設備があります。
- エ. 寝袋等の寝具はご持参ください。毛布等の貸出は行いません。
- オ. ドーム内を含め、国立天文台敷地内での飲酒は禁止です。敷地内での飲酒又は酒に酔った状態での望遠鏡の利用が発覚した場合は、ナナヨンの利用を中止します。
- カ. 国立天文台敷地内は全面禁煙です。
- キ. ドーム入り口はオートロックのためドーム外へ出る際は、必ず係員にお声がけください。
- ク. 国立天文台敷地外への退場後は再入場できません。
- ケ. 怪我等に備えた保険加入については各自で行ってください。

(4) 損害賠償及び原状復旧について

- ア. 施設又は設備等を汚損、損傷、又は損壊したときは、利用代表者に原状回復、又はその損害を賠償していただきます。
- イ. 施設又は設備等の使用を終了したときは、原状に戻してください。

(5) 光害について

- ア. 国立天文台敷地内のその他望遠鏡及び、京都大学岡山天文台の観測の妨げにならないよう、光害に細心の注意を払ってください。
- イ. 車両のライトによる光害を防ぐため、日没中は車両の使用を控えてください。
- ウ. 日没中は地蔵峠のロープを封鎖してください。日没中に国立天文台敷地内へ入場、または敷地外へ退場する場合は、事前に許可を受け、まとまって退場してください。日没中の自由解散等はできません。ただし、体調不良で退場せざるを得ないなどの緊急事態等の場合は、この限りではあ

りません。

7. 撮影写真の著作権及びクレジットの表記について

(1) 貸切共同利用での著作権について

- ア. ナナヨンの貸切共同利用で得られた写真・映像・画像を含むすべてのデータは、観測者（望遠鏡利用者）と浅口市が教育・普及・広報活動などに活用するために、観測者と浅口市の両者が著作権を所有するものとします。（以下、両者をあわせて著作権者と呼びます）
- イ. ナナヨンを利用して得たデータを公開する場合は、著作権者の承諾を得た上で、ナナヨンで得られたデータであることを明記してください。
- ウ. 公開したデータを転載及び商用目的で利用する場合は、別途、浅口市の許可を必要とします。なお、転載については観測者の承諾があり、かつ撮影地としてナナヨンの明記がある限りにおいては、原則として承諾します。
- エ. データは浅口市又は国立天文台、東京科学大学で、教育・普及・広報活動に利用する場合があります。その際には、観測者の名前を明示します。
- オ. 貸切共同利用以外の研究観測等で得られたデータの著作権については、扱いが異なります。詳細は国立天文台へお問い合わせください。

(2) クレジット表記の例

例. ©観測者氏名・浅口市

〇〇年〇月〇日 国立天文台188cm反射望遠鏡にて撮影

別表第1（5（1）関係）

利用区分	利用負担金
6時間を超え、かつ、12時間以内	20万円
6時間以内	10万円